

台風25号が来ています！！



台風により冠水や道路の寸断など、畜産経営に影響の出る被害が発生する可能性があります。減災のための取組に努めましょう。

【事前の対策】

1. 畜産施設については、損傷、倒壊等を避けるため早めの点検を行い、必要に応じて補修を行う。
2. 畜産施設への浸水の恐れがある場合、溝を掘るなどの対策を講じる。あわせて、飼料置き場にブルーシートを被せるなどして暴風雨に備える。また、畜舎への浸水等による家畜への被害に備え、事前に避難場所の確認などを行う。
3. 停電や断水等への対応を確認し、必要に応じて発電機等の手配をするとともに、搾乳作業やバルククーラーの冷却に支障のないよう、万全を期す。

【事後における対策】

1. 飼料作物・飼料

冠水や浸水等の被害を受けたほ場においては、速やかな排水に努める。
冠水によって変質した飼料は廃棄し、飼料タンク内の点検や飼料庫の通風を促す。

2. 家畜

個体観察を徹底し、疾病の早期発見とまん延防止に努める。

3. 畜舎

畜舎、牧柵、防鳥ネット等の施設の破損、汚染がないかを確認し、必要に応じて補修、洗浄、消毒を行うよう努める。堆肥舎、牛舎から流出した堆肥や家畜ふん尿は速やかに回収し、消石灰等散布を行う。濡れた敷料は除去し、乾燥した敷料に交換する。

○その他

特に飼料用とうもろこしは耐倒伏性が低く強風による被害を受けやすいため収穫期に達している場合は台風接近前の迅速な収穫に努めてください。

山梨県東部家畜保健衛生所

電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間の連絡は・・・090-5535-8005

土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005または090-5544-7868